



## 2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月8日

上場会社名 シップヘルスケアホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3360 URL <https://www.shiphd.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大橋 太  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 横山 裕司 (TEL) 06-6369-0130  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	163,310	5.2	2,953	△15.8	3,099	△31.0	2,030	△34.1
2025年3月期第1四半期	155,219	6.0	3,507	△8.7	4,491	△3.4	3,081	2.8

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 2,367百万円(△30.0%) 2025年3月期第1四半期 3,381百万円(△37.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第1四半期	円 銭 21.54	円 銭 —
2025年3月期第1四半期	32.66	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 2025年3月期中間期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2025年3月期第1四半期の連結経営成績については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	367,169	146,422	39.6
2025年3月期	381,702	150,280	39.1

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 145,316百万円 2025年3月期 149,077百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	58.00	58.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	315,000	1.6	8,000	3.3	8,500	1.0	5,500	△0.7	58.53
通期	700,000	3.2	26,000	4.9	26,500	1.8	15,500	2.5	165.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有  
新規 1社(社名) (注) 、除外 9社(社名) (注)

(注) 詳細は、添付資料10ページ「連結の範囲または持分法適用の範囲の変更」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期1Q	94,350,134株	2025年3月期	101,669,400株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	260,000株	2025年3月期	7,319,266株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期1Q	94,285,134株	2025年3月期1Q	94,350,225株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(連結の範囲または持分法適用の範囲の変更)	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の持続的な改善が見られる一方で、エネルギー価格の高止まりや円安の継続、物価上昇の影響が引き続き家計や企業活動に重くのしかかっており、景気の先行きには依然として不透明感が残る状況となっております。

当社グループの属する医療業界では、第8次医療計画や第4期医療費適正化計画、医師の働き方改革等、2024年度から様々な施策がスタートしたことに加え、医療DX推進体制整備加算の見直し等により医療現場のデジタル化促進が求められる等、引き続き効率的・効果的で質の高い医療提供体制の構築が求められております。

このような状況の下、当社グループにおきましては、トータルパックプロデュース事業のプロジェクト案件が例年以上に下期偏重であるため前年同期比で減益となりましたが、概ね計画通りに推移いたしました。また、当期は中期経営計画「SHIP VISION 2030」の初年度にあたるため、「グループ経営資源の最適化によるポートフォリオ経営」を基本方針として、3つの重点施策「新規事業創出」「再編統合」「成長領域の拡大」について推進してまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は163,310百万円（前年同四半期連結累計期間比5.2%増）、営業利益は2,953百万円（前年同四半期連結累計期間比15.8%減）、経常利益は3,099百万円（前年同四半期連結累計期間比31.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,030百万円（前年同四半期連結累計期間比34.1%減）となりました。

なお、前年同四半期連結累計期間において企業結合に係る暫定的な会計処理を行っていましたが、前中間連結会計期間に確定したため、前年同四半期連結累計期間との比較・分析にあたっては、暫定的な会計処理の確定による見直し後の金額を用いております。

セグメントごとの業績を示しますと次のとおりであります。

#### ①トータルパックプロデュース事業

トータルパックプロデュース事業におきましては、プロジェクト案件が直近5年間でも最も下期偏重の計画となっていること等から、通期計画に対しての進捗は順調に推移しているものの、前年同期比では減収減益となりました。

この結果、売上高は23,834百万円（前年同四半期連結累計期間比5.8%減）、セグメント利益（営業利益）は466百万円（前年同四半期連結累計期間比57.6%減）となりました。

#### ②メディカルサプライ事業

メディカルサプライ事業におきましては、前期に稼働開始したSPD施設稼働が堅調に推移したことに加え、経営母体の異なる複数病院との一括契約SPD案件がスタートいたしました。

この結果、売上高は121,896百万円（前年同四半期連結累計期間比8.2%増）、セグメント利益（営業利益）は1,178百万円（前年同四半期連結累計期間比21.7%増）となりました。

#### ③ライフケア事業

介護サービス事業におきましては、物価上昇やサービス品質維持の観点からの経費増加を背景に、事業運営コストが上昇いたしました。また、食事提供サービス事業におきましては、コメをはじめとする食品価格高騰の影響を受けました。

この結果、売上高は9,234百万円（前年同四半期連結累計期間比1.1%増）、セグメント利益（営業利益）は415百万円（前年同四半期連結累計期間比33.0%減）となりました。

#### ④調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、再編統合による経営効率化等により、業績は堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は8,346百万円（前年同四半期連結累計期間比2.2%増）、セグメント利益（営業利益）は928百万円（前年同四半期連結累計期間比16.9%増）となりました。

## (2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の資産は367,169百万円となり、前連結会計年度末と比べて14,532百万円減少いたしました。その主な要因は、「現金及び預金」が3,066百万円、「商品及び製品」が2,718百万円及び「電子記録債権」が2,212百万円増加した一方、「受取手形、売掛金及び契約資産」が23,442百万円減少したこと等によるものであります。

負債は220,747百万円となり、前連結会計年度末と比べて10,674百万円減少いたしました。その主な要因は、「電子記録債務」が3,515百万円増加した一方、「支払手形及び買掛金」が12,119百万円、「未払法人税等」が4,728百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は146,422百万円となり、前連結会計年度末と比べて3,858百万円減少いたしました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益により「利益剰余金」が2,030百万円増加した一方、配当金の支払により「利益剰余金」が5,472百万円減少したこと等によるものであります。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は39.6%（前連結会計年度末比0.5ポイント増）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、概ね当初予定通りに推移しており、2025年5月13日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	77,502	80,568
受取手形、売掛金及び契約資産	135,517	112,074
電子記録債権	6,236	8,449
リース投資資産	2,508	2,481
商品及び製品	23,575	26,294
仕掛品	3,363	4,102
原材料及び貯蔵品	1,920	2,017
その他	8,863	9,629
貸倒引当金	△31	△21
流動資産合計	259,457	245,596
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	21,529	21,292
土地	18,162	18,101
賃貸不動産(純額)	8,080	8,035
その他(純額)	11,187	11,015
有形固定資産合計	58,960	58,445
無形固定資産		
のれん	7,414	7,354
その他	5,316	5,141
無形固定資産合計	12,731	12,496
投資その他の資産		
投資有価証券	29,381	30,216
長期貸付金	10,351	10,152
その他	14,055	13,425
貸倒引当金	△3,236	△3,162
投資その他の資産合計	50,553	50,632
固定資産合計	122,245	121,573
資産合計	381,702	367,169

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	121,667	109,547
電子記録債務	35,470	38,985
短期借入金	698	1,290
未払法人税等	5,932	1,203
賞与引当金	3,135	3,392
その他	21,109	23,359
流動負債合計	188,013	177,779
固定負債		
長期借入金	30,620	30,266
退職給付に係る負債	3,531	3,510
資産除去債務	1,190	1,191
その他	8,064	8,000
固定負債合計	43,408	42,968
負債合計	231,421	220,747
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	15,553	15,553
資本剰余金	23,575	19,418
利益剰余金	120,407	105,394
自己株式	△15,527	△549
株主資本合計	144,008	139,816
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,182	5,693
繰延ヘッジ損益	2	2
為替換算調整勘定	△215	△276
退職給付に係る調整累計額	99	81
その他の包括利益累計額合計	5,068	5,500
非支配株主持分	1,203	1,106
純資産合計	150,280	146,422
負債純資産合計	381,702	367,169

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2025年4月1日 至2025年6月30日)
売上高	155,219	163,310
売上原価	141,530	149,577
売上総利益	13,689	13,733
販売費及び一般管理費	10,181	10,779
営業利益	3,507	2,953
営業外収益		
受取利息	75	55
受取配当金	128	135
持分法による投資利益	652	144
為替差益	170	-
その他	112	173
営業外収益合計	1,139	508
営業外費用		
支払利息	123	112
為替差損	-	219
その他	32	30
営業外費用合計	156	362
経常利益	4,491	3,099
特別利益		
固定資産売却益	0	8
抱合せ株式消滅差益	-	3
その他	-	0
特別利益合計	0	12
特別損失		
固定資産売却損	2	0
固定資産除却損	1	18
その他	-	0
特別損失合計	3	18
税金等調整前四半期純利益	4,488	3,094
法人税、住民税及び事業税	1,150	1,073
法人税等調整額	315	44
法人税等合計	1,465	1,117
四半期純利益	3,022	1,976
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△59	△54
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,081	2,030



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	3,022	1,976
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	381	507
為替換算調整勘定	△16	△91
退職給付に係る調整額	△2	△6
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	△17
その他の包括利益合計	359	391
四半期包括利益	3,381	2,367
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,450	2,461
非支配株主に係る四半期包括利益	△68	△94

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	トータル バック プロデュース 事業	メディカル サプライ 事業	ライフケア 事業	調剤薬局 事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	25,307	112,613	9,135	8,162	155,219	—	155,219
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	545	588	12	27	1,175	△1,175	—
計	25,852	113,202	9,148	8,190	156,394	△1,175	155,219
セグメント利益	1,098	968	620	793	3,481	26	3,507

(注) 1. セグメント利益の調整額26百万円には、セグメント間取引消去△31百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等48百万円等が含まれております。全社費用等は、主に親会社本社の子会社からの運営費用収入、営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費の純額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 前中間連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、暫定的な会計処理の確定の内容を反映した金額を用いております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	トータル バック プロデュース 事業	メディカル サプライ 事業	ライフケア 事業	調剤薬局 事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	23,834	121,896	9,234	8,346	163,310	—	163,310
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	436	409	26	31	904	△904	—
計	24,271	122,306	9,260	8,377	164,215	△904	163,310
セグメント利益	466	1,178	415	928	2,989	△35	2,953

(注) 1. セグメント利益の調整額△35百万円には、セグメント間取引消去△14百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等△26百万円等が含まれております。全社費用等は、主に親会社本社の子会社からの運営費用収入、営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費の純額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2025年6月6日の取締役会決議に基づき、自己株式260,000株の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において「自己株式」が500百万円増加しております。

(自己株式の消却)

当社は、2025年6月6日の取締役会決議に基づき、自己株式7,319,266株の消却を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において「資本剰余金」及び「自己株式」がそれぞれ15,477百万円減少しております。なお、自己株式の消却により、その他資本剰余金の残高が負の値となったため、その他資本剰余金を零とし、当該負の値をその他利益剰余金から減額しております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	1,353百万円	1,311百万円
のれんの償却額	455百万円	406百万円

(連結の範囲または持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

当第1四半期連結会計期間において、新たに株式を取得したことにより(株)テックインターナショナルを連結の範囲に含めております。

また、キングラン(株)は、キングラン・メディケア(株)、キングラン九州(株)、キングラン北海道(株)及びキングラン関西(株)を、シップヘルスケアファーマシー(株)（シップヘルスケアファーマシー東日本(株)より商号変更）は、日星調剤(株)、グリーンファーマシー(株)、(有)スターシップ、(株)MONAKA及び(株)オーエムピー（前連結会計年度では非連結子会社）を、シップヘルスケアフード(株)はグラン・グルメ(株)をそれぞれ吸収合併しております。これらは、いずれも連結子会社間の組織再編であります。